



実用新案登録願

(1,500円)

昭和46年2月 日

特許庁長官 佐々木 学 殿

1. 考案の名称 ^{ハコ フクロウ ヲ マダテヨウアナ}
面、袋等に於ける提手用孔の
^{ホ ヲヨバン}
補助板

2. 考案者

^{ソトカンダ}
東京都千代田区外神田1丁目4番20号

株式会社 ^{マツ シタ ナイ}
松 下 内

^{イダ ガキ マレ ヌ}
板 垣 精 造

3. 実用新案登録出願人

^{ソトカンダ}
東京都千代田区外神田1丁目4番20号

株式会社 ^{マツ シタ}
松 下

代表者 ^{マツ シタ ヒサ}
松 下 久 男

4. 代理人

東京都杉並区萩原1丁目22番6号

(5668) 弁理士 曾 根 隆 修 一

5. 添附書類の目録

(1)	明 細 書	1	通
(2)	図 面	1	通
(3)	委 任 状	1	通

明 細 書

1. 考案の名称 函、袋等に於ける提手用孔の補強板

2. 実用新案登録請求の範囲

孔(2)を有する適宜形状の厚紙等から成る板片(1)の片面に端縁に少許の線を残して略全面に感圧性接着剤(3)を塗着し、その外面に保護紙(4)を接着剤(3)により貼着重合し、端縁に於て板片(1)と保護紙(4)との未接着部分(5)を形成させて成る函、袋等に於ける提手用孔の補強板

3. 考案の詳細な説明

本考案は、段ボール面或は紙製袋等に於て、これに設けた提手用孔又は紐通し孔の破損乃至歪形を防止するため孔を囲んで貼着する補強板に関し、必要時に於ける使用を容易簡便にすると共に保管並に包装、収納を容易にしたもので、これを図面に示す実施例について次に説明する。

図面でaは段ボール製面で、その相対する側面に直接手掛用の孔bを設け面aの取扱い用

に供する。

本考案はこのように面又は紙袋に直接手掛用の孔或は提紐の挿通用孔を設けたものにて、該孔を囲んで貼着使用する補強板に係るもので、厚紙その他これと同効の適宜の強靱材料から成る板片(1)に前記提手用孔と対応する孔(2)を設け、該板片(1)の片面に端縁に小許の幅を残して略全面に感圧性接着剤(3)を塗布し、更にその外面に接着剤(3)によつて保護紙(4)を隨時剝取り得るように貼着重合して端縁に板片(1)と保護紙(4)との未接着部分(5)を形成する。

尚本品を製作するには例へば第3図示のように材料板cの一面に所定間隔毎に条状の未塗着部dを残して感圧性接着剤(3)を施した後、材料板cの全面に容易に剝取り易い例へば樹脂材料等から成る保護紙(4)を接着剤(3)を利用して貼着重合したものを製作し、これを製品の所望大ささに応じて孔(2)と共に小片に裁断して得るもので、この場合未塗着部dの中間で裁断することにより製品に於ける板片(1)と保護紙(4)との端縁に未

接着部分(5)が形成される。

本品は保護紙(4)を剥取ることにより感圧性接着剤(3)を露出させて直ちに図示のように袋又は函に貼着することにより孔の補強を行うもので、本考案によるときは単に保護紙(4)を剥取ることにより随時簡単に貼着使用し得て特に接着剤を用意する必要なくその使用を簡便にし、特にその端縁には未接着部分(5)を形成したから保護紙(4)の剥取りが至極容易であり、又不使用時には感圧性接着剤(3)面が保護紙(4)で被覆されているので、接着面が乾燥することなく長期の保存に耐えるばかりでなく、これを重合して収納保管するに適し且つ廉価に得られる等の効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

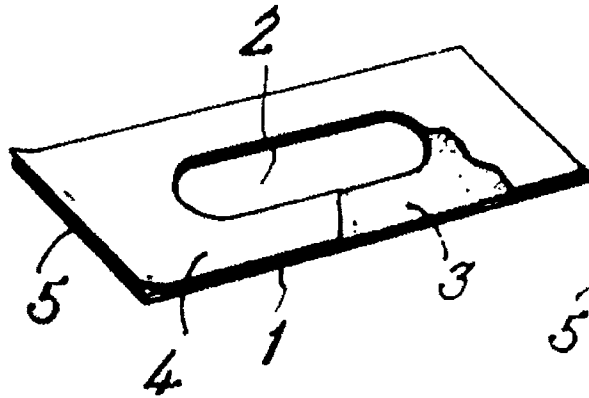
図面は本考案実施の一例を示すもので、第1図は一部を削除した斜面図、第2図はその断面図、第3図は製作手段の一例を示す斜面図、第4図は使用状態の斜面図である。

(1) ……板片、(2) ……孔、(3) ……感圧性接着剤、

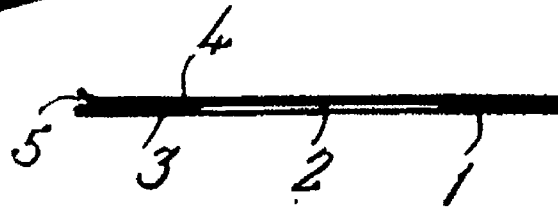
(4) ……保護紙、(5) ……未覆着部分。

実用新案登録出願人	株式会社	松	下
代理人弁理士	會	模	同
		修	一

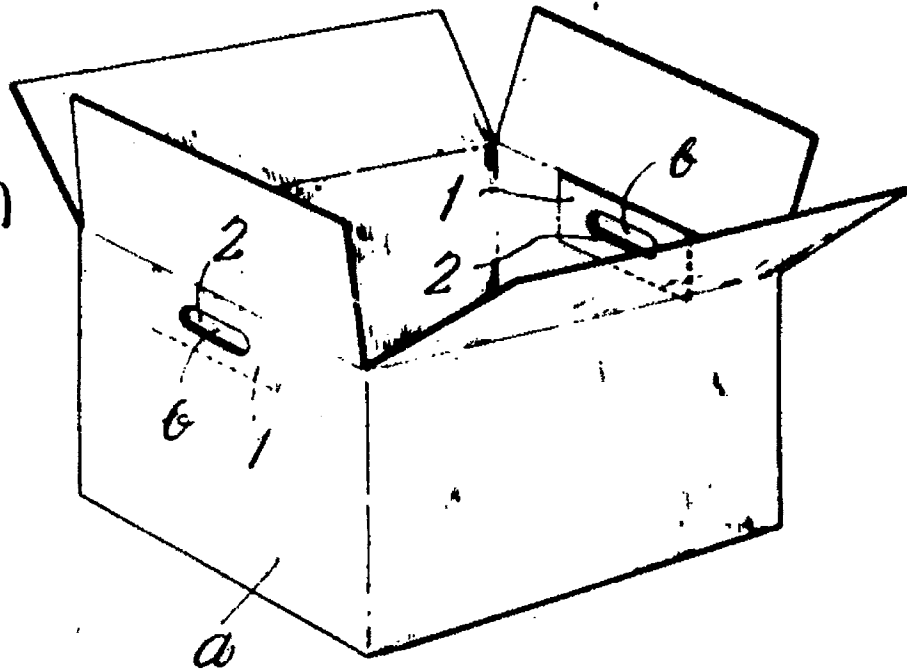
第1図



第2図



第3図



第4図

